

授業科目

医療安全管理学

担当教員名 長濱 大輔、佐藤 克郎 他	対象学年	4	対象学科	臨床
	開講時期	後期	必修・選択	自由
	単位数	1	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○			○

授業の概要

医療安全の必要性とその取組みについて理解を深める。また、微生物学的検査を目的とする検体採取については、専門医による実習指導を受けて技術習得する。

授業の目的

医療における安全管理とは何かを授業を通して実例を交えながら把握していく。そして医療安全の必要性とその管理の取組みについて理解を深める。また、法改正による微生物学的検査を目的とする検体採取については、主に耳鼻科域での検体採取例の実習を通して技術習得する。同時に感染症、合併症についても知見を深める。

学習目標

1. 我が国の医療安全の始まりとおの推移、医療倫理から医療安全管理対策までの概要を説明できる。
2. リスクマネージャーの役割(インシデント、アクシデントの情報収集とその是正)を説明できる。
3. 医療現場における安全管理対策の実際を説明できる。
4. 医療事故やインシデント事例に関わるデータを解析して、その発生予防と再発防止に努める。そして医療安全管理におけるITの活用について説明できる。
5. 検体採取について理解し、合併症、感染管理、医療安全対策について説明できる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	医療安全概論(医療倫理、医療安全に関わる法律の概念)	講義	長濱 大輔 他
2	医療安全管理の必要性 -医療安全の進め方～リスクマネジメントシステム-	講義	長濱 大輔 他
3	我が国の医療事故、医療過誤の推移とその取組みについて	講義	長濱 大輔 他
4	医療安全管理への具体的な取組み(1)医療安全の組織作りとその運営	講義	長濱 大輔 他
5	医療安全管理への具体的な取組み(2)-臨床検査部門と登録衛生検査所での実際-(院内感染と安全対策を含む)	講義	長濱 大輔 他
6	医療安全管理への具体的な取組み(3)医療安全管理教育の必要性と取組み事例、そして統計分析について理解を深める。	講義	長濱 大輔 他
7-8	微生物学的検査等における検体採取。 1)皮膚表在病変部検体採取実習(合併症、感染管理および安全対策を含む)	講義,実習	佐藤 克郎 他
9-10	2)鼻腔拭い液検体採取実習(合併症、感染管理および安全対策を含む)	実習	佐藤 克郎 他
11-12	3)咽頭拭い液検体採取実習(合併症、感染管理および安全対策を含む)	実習	佐藤 克郎 他
13-14	4)鼻腔吸引液検体採取実習(合併症、感染管理および安全対策を含む)	実習	佐藤 克郎 他
15	5)便の採取その他(合併症、感染管理および安全対策を含む)	講義,実習	佐藤 克郎 他

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	最新臨床検査学講座 医療安全管理学	諏訪部 賞、高木 康、松本 哲哉	医歯薬出版株式会社	2016年		
	医療安全管理テキスト	飯田 修平編	日本規格協会	2015	3,000円+	

参考書				年	税	
	医療安全学	日本医学教育学会	篠原出版	2010年	2,400円+税	
その他の資料						

評価方法

小テスト(講義) 10% レポート(実習)10% 定期試験 80%

履修上の留意点

臨床検査技師等に関する法律の一部改正による指定科目の新設である。

オフィスアワー・連絡先

nagahama@nuhw.ac.jp